

# 弘濟寺がわふ版

第97号

令和4年5月10日発行

弘濟寺 玉野千永編集

弘西寺131 0465(74)1717

弘濟聖寺 検索

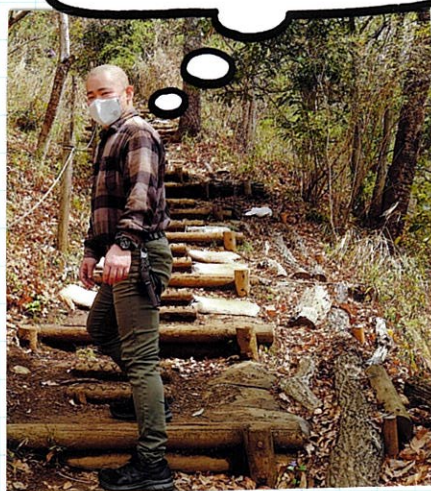
さあ、こころから弘法山へと桜並木に囲まれた弘法山尾根伝いの道を気持ちよく進みます。



「平和な世界に  
たひりますように」と  
と手を合わせました。

秦野の弘法山は桜の名所としても有名な事をご存知でしょうか。今回はそんな弘法山へレッツサイクリング。とほ言っても弘法山は標高235mで急な坂が続くため、自転車を積んだ車を駐車場に停めて、歩いて登ることに...。30分程登った頂上にはある見晴台から、その素晴らしい景色を眺めらるは、権現山の頂上まで眺めることができます。案内、浅間山と連なる山の中の日露戦争の慰霊碑があり、歩み出すと

心なペダルで来てるのになんて歩いているのかな？



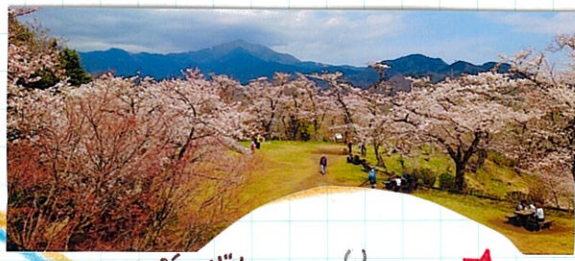
## 弘法山へペダル

副住職がクロスバイクでお参り？

## 弘法山方面



水無川 赤い桜満開



Cafe いがらし 浅間山 弘法山



お大師様が祀られているお堂

弘法とつく山は全国でもここだけかも。自転車では登れなかったけど、桜もきれい。気持ちよかったです。



走行距離 7.2 km  
走行時間 30分

このタイプの井戸はとなりのトロロで見た位かなあ？初めてだ！



弘法の乳の水  
井戸からは白く濁り、乳の香りを漂わせて、水が湧き出ている様子

弘法山は弘法大師が20分程かけて、千座の護摩を修められたと云われています。弘法山の頂上には、弘法大師の井戸があり、この井戸からは白く濁り、乳の香りを漂わせて、水が湧き出ていると云われています。



おいしい



cafe いがらし



国登録有形文化財のcafe いがらしと懐かしくほんりある味のハヤシライス

近々、弘法山の麓に「弘法山」という新しいスポットが出来た。弘法山の麓には、弘法大師の井戸があり、この井戸からは白く濁り、乳の香りを漂わせて、水が湧き出ていると云われています。弘法山の麓には、弘法大師の井戸があり、この井戸からは白く濁り、乳の香りを漂わせて、水が湧き出ていると云われています。

弘法山の麓には、弘法大師の井戸があり、この井戸からは白く濁り、乳の香りを漂わせて、水が湧き出ていると云われています。弘法山の麓には、弘法大師の井戸があり、この井戸からは白く濁り、乳の香りを漂わせて、水が湧き出ていると云われています。



# 寺かん

## ヨガ教室

- 毎週水曜日10時～
- 弘濟寺本堂
- 1回1000円

## タピオン教室

- 6月8日(水) } 13時30分～
- 7月13日(水) } 密殿にて
- 8月10日(水)
- 1回1000円

※初めての方は事前に  
お申し込み下さい。

# お地蔵さん修復日記

4月16日地蔵菩薩坐像の光背と台座が搬出されました。光背と台座が搬出されると、お堂には須弥壇※1というお地蔵さんが載る壇が残りました。この壇は本堂へ移動します。というも弘濟寺地蔵堂が江戸時代(明和9年)に建てられたもので築250年以上経過しております。虫食い等傷みも激しく、修理が終わったお地蔵さんを安心して置けそうにありません。そこで、先日の役員会において本堂を一部改修して、お地蔵さんは本堂へ移動することにいたしました。



光背、台座搬出

残された立派な須弥壇。本堂へ移動するので掃除していたら台の裏側に「雨坪の石田様がご先祖様の供養の為に須弥壇をご寄進された」という墨書を発見※2しました。

年代を見ると元〇元年(写真右)〇に入りそうなので、歴史上元のつく元号は

2つ。元久と元文。元久なら今話題の「鎌倉殿の13人」の時代です。加えて左の写真には源祖父という文字が……



源……!!!!  
とうとう弘濟寺も大河ドラマゆかりの地になるのか?とドキドキしていたら、住職より「元文元年(1736年)と判明」と文字解読発表がありました。鎌倉時代ではなく、暴れん坊将軍が有名な徳川吉宗の時代に、ここ田舎の弘濟寺では石田さんからお地蔵さんを立派な壇にお祀りしようと須弥壇のご寄進があったのです。悠遠の昔より受け継いできている、篤い信仰心を今年度も引き継ぎ、修復をしまいきます。300年後には今回修復プロジェクトに関わった方々の名前も発見され話題とてみることをしよう。どうぞ幾久しくお護り下さい。

※1 須弥壇…仏様を祀る壇の事。古来よりインドの神聖な山として崇められる須弥山が語源といわれる。

※2 これは、元禄13年の地蔵菩薩坐像を修復した雨坪の後藤太郎左衛門さんに並ぶ時代の寄進者発見となります!!

# 念佛講の解散

私が弘西寺にお嫁に来た30年前、このあたりではお葬儀があると、通夜・葬儀・初七日とお念佛を唱えてもらっていました。その時、砂糖水や飴を用意したのを覚えています。いつの頃からかその風習は途絶えてしまいましたが、お念佛の練習は、公民館に茶菓子を持ち寄り、お喋りを楽しみながら、続いていました。

弘濟寺地蔵まつりでは、お堂の中でカンカンカンという鐘の音とお念佛の音が境内を優しく包み込んでいました。そんな弘西寺の念佛講も会員さんの減少によりとうとう解散となりました。3月29日、本堂に使用していた掛軸やおりんを置いて、会員の皆さんと解散式を執り行いました。長い間継承されてきたことが途切れることは寂しく、残念ですが、別の形で集まれたら良いですね。長い間お疲れ様でした。



しゅみだん 須弥壇



**お地蔵さん修復事業**

浄財のご寄進は令和5年1月まで受け付けています。  
お寺にお持ちいただくか、下記へお振込みください  
郵便振替 00200-7-91754 弘濟寺 (1口3,000円から)

レストラン  
**マジェール**

★法事用特別コース  
4,000円  
4名様より(個室完備)

☎82-0335  
開成町宮台63(シャトレーゼ向い)

Pasta & Cafe  
**MAJEAL**  
Everyday Enjoy, more "E" zone  
マジェール since 1995

ご贈答品のご用命は  
**足柄ハリカ**

南足柄市飯沢51-4 火曜定休日  
TEL (0465) 74-5221

有限会社 **勝又**

南足柄市飯沢12-10  
☎ (0465) 74-2306